

令和6年度村山市スポーツ施設の管理と活動状況について

1 はじめに

スポーツ施設の指定管理を担当し4年が経過し、利用者が快適にスポーツを楽しむ施設を提供できるように努め、順調に業務を遂行してきた。心配された感染症については、ガイドラインが緩和されたものの、変異したコロナウイルスやインフルエンザなど異なる疾病も流行傾向にあり、引き続き徹底した感染症防止対策により清潔で安心・安全な環境づくりを第一に管理業務にあたった。

それでも運営の立場で大事なことが見えないことや見逃していることも考えられ、利用者の率直な声を傾聴するため、今年も「村山市スポーツ施設利用に関するアンケート」を実施した。その寄せられた意見や要望等については、最終5年目の指定管理に生かし一層充実していきたいと考える。

※職員構成 常勤職員・・・男性3名、女性2名、非常勤男性1名

2 施設の管理について

施設の管理については、市民体育館は毎日3回（朝・夕・夜）、館外施設は週2回（月・金）、巡回点検を実施し、不具合や故障箇所など異常がないかを確認し、簡易な故障等があった場合は、利用者の活動に影響が及ばないように迅速に修繕してきた。しかし、老朽化が進み簡単に修繕できないものや特注の部品を新たに作らないと直ぐには修繕できないものもあり、一定期間不便をかけた施設（器具）があった。（バスケットリングのボルト修繕、金谷運動広場の夜間照明タイマー修繕）

昨年度、試行的に実施した金谷運動広場の雑草対策については、業者と委託業務契約を正式に結び、ドローンを使った安全な薬剤（児童公園用薬剤）散布により、雑草のないグラウンド整備に努めた。

（1）管理場所

- ①村山市民体育館、②村山市武道館、③村山居合振武館、④金谷運動広場
- ⑤金谷グランドゴルフ場、⑥金谷テニスコート、⑦金谷クラブハウス
- ⑧楯岡スポーツレクリエーション広場、⑨最上川右岸グランドゴルフ場
- ⑩基点運動広場（ゲートボール場）、⑪基点テニスコート

（2）日常業務

- 1）管理施設の予約受付及び使用許可・利用料金の徴収・体育館開館時間 9:00～21:30
- 2）感染症防止対策業務 ・除菌消毒作業及び換気（8:30～・21:00～・各施設の使用後）

（3）維持管理業務（日常の維持管理は外注せず、職員で実施している）

- 1）館内掃除・作業
- 2）館外施設掃除・作業（草刈り作業や各施設の掃除、簡易な修繕等）

（4）保守点検

- 1）館内日常点検 （8:30、17:00、21:30）
- 2）館外施設巡回 （週2日実施、毎回巡回状況を生涯学習課に報告）

（5）危機管理対策 ○村山市民体育館防災計画に基づく防災訓練、○防災計画マニュアル作成

1）防災訓練の実施

防災訓練 市民体育館 令和6年6月7日（金）、令和6年11月27日（木）
居合振武官 令和6年11月10日（日）大上・林崎地区防災訓練時に実施

- ①火災を想定した消防訓練（非常用機器の操作や避難誘導、消防署への通報まで）
- ②急病人が出た時の心配蘇生法とAEDの取り扱い方法について

3 自主事業について

指定管理者の自主事業として、年齢や性別を問わず気軽に楽しむことができる「カローリング教室」や一流選手のプレー等から専門の運動技能を学ぶ「トップアスリートを招聘したスポーツ教室」、日頃体を動かす機会が少ない障がい児に対して、スポーツの楽しさを提供する「障がい児スポーツ教室」を実施した。また、これらの事業に多くの市民に参加してもらうため、公共施設に掲示用のポスター等を作成し配布したほか、市報（市民の友）や山形新聞社への掲載などで周知してきた。

(1) 元気澆刺カローリング教室（秋・春）

- 1) 期日 ①秋のカローリング教室 11月21日～12月19日の火曜日
②春のカローリング教室及びスカットボール体験 3月4日～3月25日までの火曜日
- 2) 講師 ・片桐賢一氏 山形県カローリング協会会長 ・・①秋
・体育館職員3名（日本カローリング協会C級指導員）・・①秋、②春

(2) トップアスリート（陸上競技・卓球）を招聘したスポーツ教室

◇陸上競技五輪選手・パラ五輪選手と「みんなでチャレンジアカデミー in 村山」の開催

- 1) 期日 11月16日（土）
- 2) 講師 ・福島千里さん「かけっこ教室」（元五輪選手、短距離100m・200m日本記録保持者）
・鈴木徹さん「義足体験」（元パラ五輪選手、2024パリパラ五輪陸上コーチ）
・村山市スポーツ推進委員の皆さん「ボッチャ体験」（増川推進委員協議会長ほか2名）
- 3) 内容 陸上競技の元五輪選手で、短距離日本記録保持者の福島千里さんによる「かけっこ教室」、元パラ五輪選手で義足の走高跳2mジャンパー鈴木徹さんによる「義足体験」、村山市スポーツ推進委員の皆さんによる「ボッチャ体験」に親子約150人が参加のもと「みんなでチャレンジアカデミーin 村山」を開催した。また、冬季五輪スピードスケート銅メダリストの加藤条治さんも駆けつけ、参加者とともにスポーツで交流を深めた。

◇卓球の日本トップ選手と日本代表監督による「卓球教室」の開催

- 1) 期日 2月15日（土）
- 2) 講師 ・田勢邦史さん（日本卓球協会/男子ナショナルチーム監督・長井市出身）
・三部航平さん（シチズン時計/全日本卓球男子ダブルス優勝等・東根市出身）
- 3) 内容 パリ五輪で卓球男子日本代表監督を務めた田勢邦史監督（日本卓球協会・長井市出身）と全日本卓球選手権大会男子ダブルス優勝など国内トップ選手として活躍する三部航平選手（シチズン・東根市出身）を講師に卓球教室が開催された。

当日は市内外から学生受講者234名、観覧者260名、合計494名が参加し行われ、田勢監督が三部選手のプレーをもとに大事なポイントを解説すると、参加者はうなずきながら一流選手の技術を学んだ。チャレンジマッチでは、葉山ジュニア卓球スポ少の渡辺梓妃さん（小学校6年生）など小学生・中学生・高校生の7名が三部選手に挑み、見事ポイントを取ると会場全体に歓声が響きわたり、田勢監督からの的確なアドバイスをもらい貴重な経験を得ることができた。質問の場面では講師が一人ひとりの質問等に丁寧に答え、日本トップで活躍する二人の熱のこもった指導に参加者は大いに満喫する卓球教室となった。

(3) 障がい児バリアフリーのびのびスポーツ教室

- 1) 期日 6月 2日(日)、6月22日(土)、8月 3日(土)、8月24日(土)
9月29日(日) 計5回
- 2) 講師 市民体育館職員
- 3) 内容 日頃、体を動かす機会が少ない障がい児に対して、スムーズに取り組めるよう5種類のニュースポーツを毎回実施し、スポーツ(遊び)を通して体を動かすことの楽しさや喜びを体験させた。3回目からは参加者の希望により卓球(簡易ゲーム)も取り入れた。
また、ユニバーサルデザインの観点からイラストと言葉で掲示版と配布物に分かり易く内容を説明するなど障がい児が実施種目を理解できるように工夫し、教室の最終日には芋煮会を行い、スポーツと食事を通して交流を深めた。
しかし、障がい者理解やサポート、障がい者と健常者が一緒にスポーツを楽しめるようインクルーシブの視点で小中学生にボランティアを募集し多くの参加希望者があったが、コロナウイルスや手足口病やリンゴ病など感染症の流行があったことと、猛暑のために急遽中止にした。
(※実施種目：RDチャレンジ・アキュラシー・カローリング・輪投げ・ポッチャ・卓球)

4 適正な指定管理運営とその確認について

(1) 毎月1回 生涯学習課と事務局との打合せ会の実施

- 1) 管理業務の実施状況報告
常務運営状況や破損箇所とその修繕状況、苦情・要望等についての報告
- 2) 市と指定管理者における施設管理に係る課題の共有
- 3) その他、村山市のスポーツ振興に関する事項の情報交換

(2) 村山市スポーツ施設利用に関するアンケートの実施とその結果について(資料2のとおり)

- 1) 今年度は28の利用団体にアンケートを依頼し、26団体から回答を得た。
- 2) 内容は、指定管理者の運営状況や施設の設備・用具の状況、自主事業に関してなど共通質問10項目と金谷運動広場利用者への質問1項目

(3) アンケート結果の開示について(当施設ホームページ)

5 その他

(1) スポーツ施設及び設備・備品等の老朽化

- 1) 施設の老朽化(体育館、武道館、振武館)
- 2) 備品等物品の老朽化への対応について 卓球台等用具について、水銀灯の製造終了